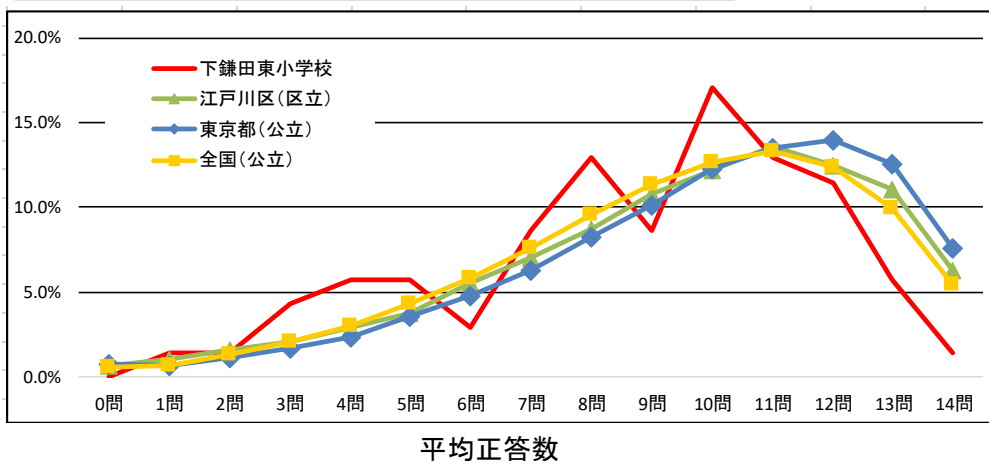


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 下鎌田東小学校

正 答 数 分 布

下鎌田東小学校: 8.7 問
東京都（公立）: 9.8 問

江戸川区（区立）: 9.5 問
全国（公立）: 9.4 問



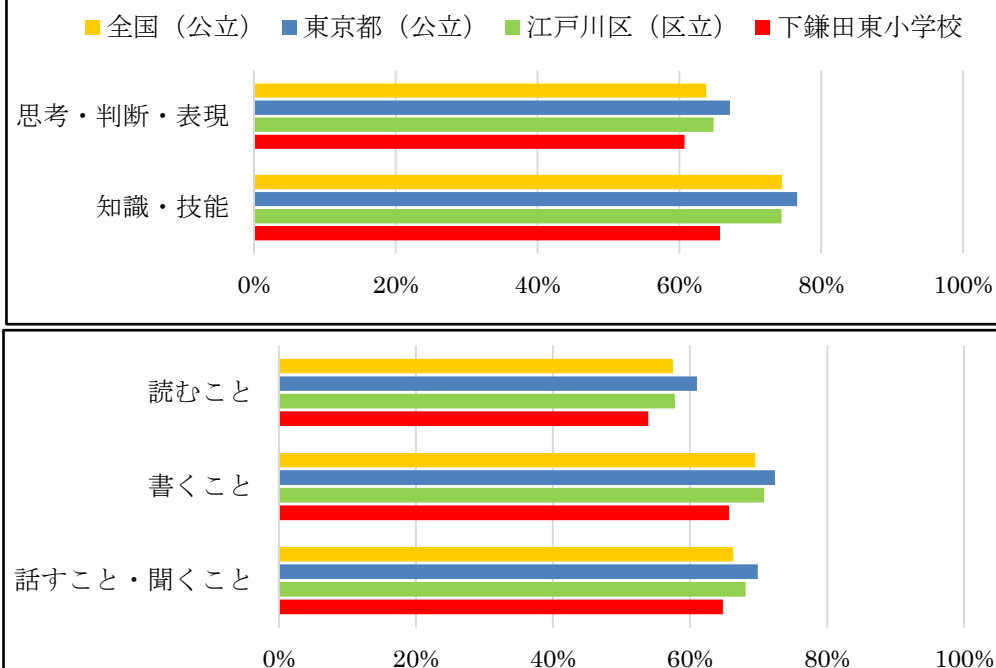
＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

上位 ← → 下位

国 語	A 層 12～14 問	B 層 10～11 問	C 層 8～9 問	D 層 0～7 問
下鎌田東小学校	18.6%	30.0%	21.4%	30.0%
江戸川区（区立）	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都（公立）	34.4%	25.8%	18.4%	21.4%
全国（公立）	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

下鎌田東小学校	62%
江戸川区（区立）	68%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	66.8%
都との差	-8 ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- ・全領域で全国平均を下回る結果になったが、「話すこと・聞くこと」領域は-1.5 ポイントと、全国平均に近づいている。
- ・「書くこと」領域は全国平均の-3.8 ポイントと正答率が低かった
- ・「資料をもとに自分の考えをまとめる問題」の正答率が低かった。

【授業改善に向けて】

- ・読書の時間を充実させ、文章を読む経験を増やす。
- ・文章の内容を正しく読み取るために、文章中の重要な語句をキーワードで捉える指導を繰り返して行う。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結びつけて必要な情報を見つけながら読むことを意識させる。